

Bangladesh ユニバーサルヘルスカバレッジの達成に向けた看護 人材の育成を提言

神戸市看護大学学長 南裕子先生が Bangladesh を訪問

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、Bangladeshにおいて、2016年度から5か年の計画で、保健医療従事者の中でも特にその数と質の早急な改善が求められている看護師の育成支援を目的に「看護サービス人材育成プロジェクト」を行っています。

このプロジェクトは、同国の保健セクターにおける持続的開発ゴール（SDGs）、特に2030年までにすべての人々が良質な保健医療サービスをいつでも受けられるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）達成のための取組みを支援するもので、その活動の一環として、現地看護大学において、教育内容の改善や教員の能力向上、そして連携病院での学生の臨床実習体制の整備に取り組んでいます。

プロジェクトの準備段階から現在に至るまで、兵庫県看護協会、兵庫県立大学、神戸大学、神戸赤十字病院、関西医科大学等ご関係者のご協力のもと、当センターでは、毎年、プロジェクトに係わる Bangladesh の行政官、看護教員、病院看護職を招へいし、看護教育、臨床、さらには行政に関わる幅広い分野の研修を実施してきました。

今回、その研修の評価及びプロジェクトの運営指導を目的に、神戸市看護大学 南裕子先生をリーダーに、関係者の方々に Bangladesh を訪問いただくことになりました。

現地では、看護学生、教員、臨床現場の看護師さらに行政職に対するセミナー、現場の視察、保健省での協議を実施し、看護人材育成に向けたご提言を発信いただきます。

戦後日本の看護職の技能と地位の向上そして看護教育の拡大に多大な貢献をされ、国際看護協会の会長職も務められた南先生は、日本が70年かかり成し遂げたこの成果を Bangladesh では20年で達成することを目指し、ご自身のご経験を生かした支援をしたい、と本事業の開始の際にご発言されてます。ハシナ首相も「看護職の強化は、保健サービスの質の向上だけでなく、女性がより多く就業できる専門技能職として、女性の地位向上にもつながる」との力強い政策的メッセージを発信しており、JICAは引き続きその支援を行っていく予定です。

ご関心がございましたら、ご連絡ください。

訪問日程：2019年12月14日（土）～12月20日（金）／訪問国：Bangladesh（ダッカ）

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西業務第一課 三脇(みわき) [TEL:078-261-0383](tel:078-261-0383) e-mail: Miwaki.Ayumi@jica.go.jp